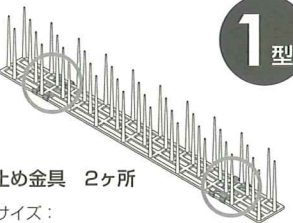

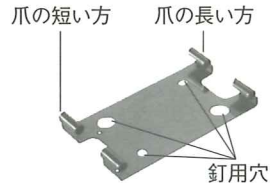
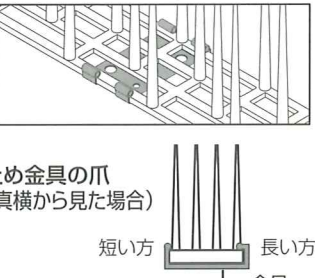

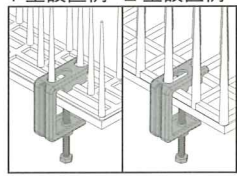
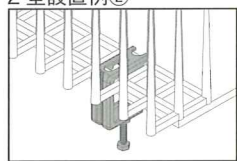
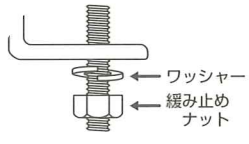
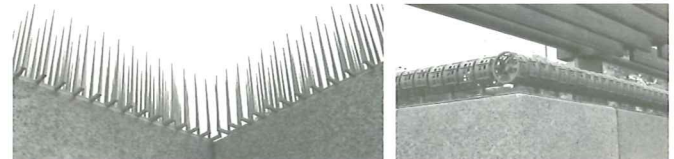
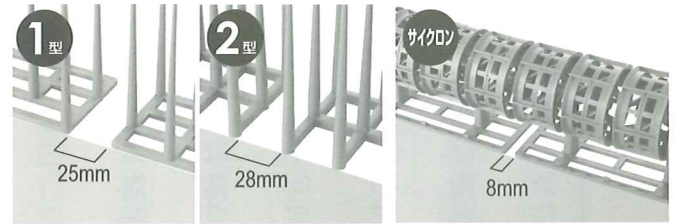
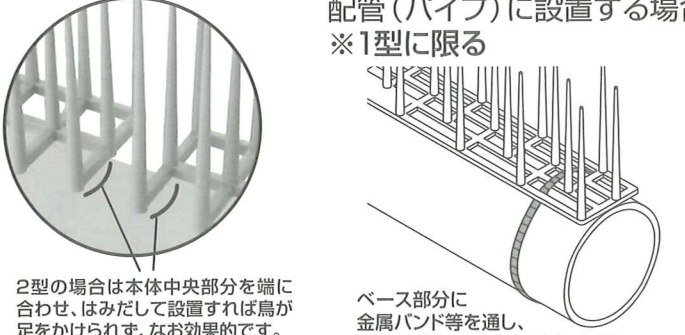
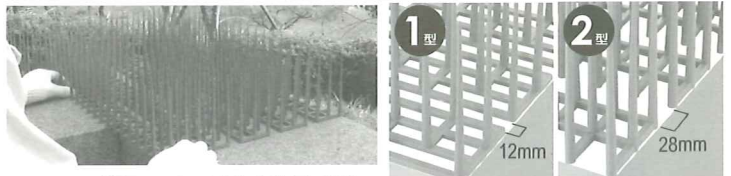
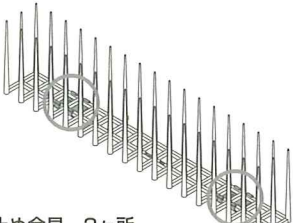
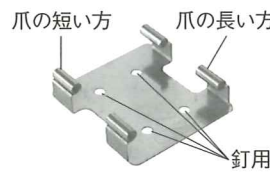
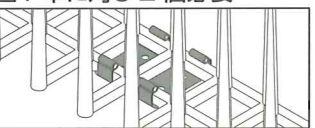
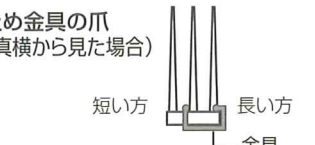


バードレスマットシリーズ 取り付け説明書

注意事項

設置面を綺麗に清掃し、完全に乾燥させてから設置して下さい。
バードレスマット本体はポリプロピレン製で接着が出来ません。
専用止め金具をご使用の上設置面に合った接着剤やビスをご使用下さい。

Ver.2

商品の種類	止め金具の使用方法		設置について
<p>バードレスマット</p> <p>1型</p>  <p>止め金具 2ヶ所</p> <p>サイズ： 高さ103mm 横幅603mm×奥行60mm</p> <p>サイクロン</p>  <p>止め金具 3ヶ所</p> <p>サイズ： 高さ90mm 横幅502mm×奥行60mm</p>	<p>1型・サイクロン用止め金具 C-1 (着脱可能)</p> <p>ステンレス製</p>  <p>爪の短い方 爪の長い方</p> <p>釘用穴</p> <p>■取り付け場所 コンクリート、 金属、 各種ボード等</p> <p>1 本体に止め金具をはめる (1型2カ所・サイクロン3カ所) 爪の長い方を先にはめてから 爪の短い方をはめ込みます。</p> <p>2 止め金具裏面に接着剤を塗布し、 設置面の端いっぱいに合わせて、 接着します。 接着剤は止め金具の穴から溢れて 返しになるくらい多めに塗布し て下さい。 釘打ちの場合は釘打ち用穴に釘 を打ち込んで下さい。</p> <p>止め金具の爪 (真横から見た場合)</p>  <p>短い方 長い方 金具</p>	<p>クランプ DX</p> <p>防錆処理済 (デルタプロテクト)</p> <p>■取り付け場所 H型鋼、L型鋼等 挟み幅 35mm</p> <p>電動ドライバー対応</p>  <p>※緩み止めナット ※ワッシャー付</p> <p>■図1 1型設置例 2型設置例</p>  <p>■2型の場合 2型設置例②</p>  <p>1 本体に止め具を はめる (2カ所) クランプ上部の穴を剣山に差し込むと、 よりしっかり設置できます。(図1)</p> <p>2 手もしくはドライバー等で しっかり締めて固定します。</p>  <p>← ワッシャー ← 緩み止め ナット</p> <p>最後に緩み止めナットを しっかり締めて下さい。 ※ロックタイト等(緩み止め剤) の使用をおすすめします。</p>	<p>設置について</p> <p>奥行きがない場所への取り付け (横方向に並べる場合)</p>  <p>1型 2型 サイクロン</p>  <p>25mm 28mm 8mm</p> <p>本体を端いっぱいに合わせて、 25~28mmの間隔で並べて設置して下さい。サイクロンは8mm間隔で並べて下さい。</p> <p>配管 (パイプ) に設置する場合 ※1型に限る</p>  <p>ベース部分に 金属バンド等を通し、 左右2箇所ですっかり締めて下さい。</p> <p>奥行きが広い場所への取り付け (しきつめる場合)</p>  <p>1型 2型</p> <p>12mm 28mm</p> <p>12~28mmの列間隔で2列、3列と並べて使用して下さい。</p> <p>●奥行きが広い場所で、すでに被害のある場合は、必ずしきつめを行って下さい。ハトは帰巢本能が強い為、少しのすき間でも無理やり止まろうとします。</p> <p>※壁面から並べ始める場合は、1つ目を壁面より少し(3cm以内)あけたところから並べて下さい。</p>
<p>バードレスマット</p> <p>2型</p>  <p>止め金具 2ヶ所</p> <p>サイズ： 高さ147mm×横幅600mm×奥行78mm</p>	<p>2型用止め金具 C-2 (着脱可能)</p> <p>ステンレス製</p>  <p>爪の短い方 爪の長い方</p> <p>釘用穴</p> <p>■1本に対し2個必要</p>  <p>止め金具の爪 (真横から見た場合)</p>  <p>短い方 長い方 金具</p> <p>■取り付け場所 コンクリート、 金属、 各種ボード等</p> <p>1 本体に止め金具をはめる (2カ所) 爪の長い方を先にはめてから 爪の短い方をはめ込みます。</p> <p>2 止め金具裏面に接着剤を塗布し、 設置面の端いっぱいに合わせて、 接着します。 接着剤は止め金具の穴から溢れて 返しになるくらい多めに塗布し て下さい。 釘打ちの場合は釘打ち用穴に釘 を打ち込んで下さい。</p>		